

防火防災を願って60年

第60回益城町消防団出初式



出初式会場の町民グラウンドに集結した649人の消防団員

町消防音楽隊が演奏する式典音楽で始まった新春恒例の益城町消防団出初式。開催60回目の節目を祝うかのように晴れ渡った青空の下、町民グラウンドで1月19日、盛大に開催されました。

早田哲也団長を先頭に、総員649人の団員が分列行進し、会場に集結。正確な規律や動作を行う通常点検や、28m離れた標的を放水で倒す時間を競う標的倒しといった訓練演習を行いました。

秋津川沿いでは23台の積載車が並べられ、11年ぶりの一斉放水が行われました。整列した積載車から、きれいなアーチを描くように放水。その迫力に観客から拍手が送られました。

また、第4・5保育所、あじさい幼稚園の園児たちが、かわいい演技で会場を賑わせ、婦人防火クラブ(富田セッコ会長)の炊き出し訓練で関係者や観客に豚汁1、200食が振る舞われ、式典に華を添えました。

■成績

〔通常点検の部〕
優勝：第5分団第3班
(杉章)

準優勝：第1分団第4班
(砥川・新川・下鶴)
第3位：第5分団第5班
(下小谷)

〔標的倒しの部〕

優勝：第4分団(福田)
準優勝：第1分団(飯野)
第3位：第5分団(津森)
〔優秀班表彰〕

第1分団第5班
(木崎・中尾・五楽)
第3分団第4班
(下寺中灰塚)

〔総合優勝〕
第5分団(津森)

■表彰 敬称略

〔日本消防協会表彰〕
在籍20年以上副団長(指導員)以上
指導員 知名石英二

〔熊本県消防協会会長表彰〕
在籍20年以上副団長以上
第1副分団長 福本 貴胤

〔勤続章〕 在籍15年以上
第1分団
三浦匠賢、鍋島一成、
増永英次、松尾健司、
高田寛、秋月室生

第2分団
北野幸輝分団長、森永
大、日野衛、福永純一、
石原正章

第3分団
木村洋、水上圭志郎、
尾方竜馬

第5分団
田上智道、城下英治、
宇土裕樹、田中健一郎、
松本雄一郎

全国最優秀作品を紹介します

生活協同組合全日本消防人共済会が行う第13回全国中学生「防火防災に関する」作文コンクールで、木山中の徳永柚紀さん(下小谷)の作品が各都道府県から推薦された72点の作品から選ばれ、最優秀賞を受賞しました。



木山中2年 徳永柚紀さん
とくなが ゆづき

ある消防団員の話

祖父にとって消防団はもう一つの青春だったようだ。長話が嫌で、日ごろあまり話をしない祖父に思い切ってインタビューした。

十八歳で消防団に入り、第五分団第五班に所属。最終的には益城町消防団の団長になった。入団した時には、「自分の家からは絶対に火を出せない」と責任を感じるとともに、「この町からも絶対に火は出させない」と周囲に上がる煙を常に意識していたそう。消防団の活動は単に防火を呼びかけるだけではない。実際の火災の現場に出動することだってあり得る。だから、操法大会と的落とし大会に向けて二か月も前から練習をする。規律正しく行動しつつ、いかに早く放水するか、いかに正確に的に当たるかを消防署の方々が審査をする。練習の甲斐あって二十歳の時、益城町大会で三位に入賞したそう。

また、月に一度は積載車の点検と機械の整備をしていたし、年末には消火器の点検